

徳之島町 町誌編さん だより

第2号

2018.09.10

町誌編さん審議会委員を委嘱。審議会会議を開催しました



▲ 町誌編さん室の看板とともに写真撮影



▲ 審議会会議の様子

町誌編さん審議会の役割は、町長の諮問に依りて、「刊行計画」や「刊行巻の構成」、「専門部会の構成」、「編さん・編集上の基本方針」等の重要事項について検討し、調査・執筆候補者の情報交換を含め、さまざまな意見を出していただくというものです。8月29日（水）、島内外の研究者や学識経験者、役場から召集され、下記のメンバー8名に審議会委員をお願いしました。

委員長	町田 進	(徳之島町文化協会会長・町文化財保護審議会会長。徳之島町井之川在住。)
副委員長	皆村武一	(鹿児島大学名誉教授。鹿児島市在住。)
委員	深澤秋人	(中縄国際大学教授。沖縄県島尻郡南風原町在住。)
委員	寶田辰巳	(元 徳之島町教育委員。徳之島町母間在住。)
委員	四本延宏	(奄美群島文化財保護対策連絡協議会会長。伊仙町馬根在住。)
委員	幸野善治	(徳之島町副町長)
委員	福 宏人	(徳之島町教育長)
委員	岡元秀希	(徳之島町総務課長)

町誌編さん室の前で記念写真を撮影したのち、会議室に場所を移して審議会委員の委嘱式を行い、ひきつづき審議会会議を開催しました。今回の会議において検討・確認された主なものは、次のとおりです。

1. 新たな町誌の編さん期間は、平成30年4月から平成35年3月の5年間。
2. 新たな町誌の名称は『徳之島町史』とし、通史編・地域編(1・2)、自然編を編さんする。あわせて簡易版『徳之島町の歴史(仮称)』や関連資料集を刊行する。
3. 専門部会には、「先史・古代・中世部会」「近世部会」「近現代部会」「民俗部会」「自然部会」「地域文化部会」の6部会を設置する。

今後は、部会ごとに調査員の選定を進め、編集委員と専門部会調査員を委嘱し、それぞれ専門の立場から調査や執筆にあたっていただきます。新たな『徳之島町史』の編さんに向けて、今、大きく動き出そうとしています。編さん事業の動向にご注目ください。

奄美地区の自治体史編さん状況の視察を実施

『徳之島町史』の再編さん事業の開始にともない、周辺市町村の「編さん事業の進め方」や「編集状況」、「史・資料の所在状況」等を把握するために、6月18日から21日にかけて大和村・奄美市・宇検村・瀬戸内町の4市町村で現地視察を実施しました。現在、編さんを続けているのは宇検村のみですが、いずれの市町村もたいへん好意的に対応していただきました。自治体史を編さんするための「基本的な作業内容」や「編集状況」、「史・資料の収集・整理・保管」、「刊行物の在庫の保管状況」、「編さん事業終了後の史・資料の活用」等について説明をいただきました。今回の視察を通して多くの課題が明らかになった一方で、見聞したものを一つでも多く本町の編さん事業に活かしていかななくてはと、室員一同、気持ちを新たにしました。



▲ 『名瀬市誌』編さん時の収集資料(奄美市)



▲ 編さん資料と作業室の様子(宇検村)

町誌編さん事業日誌(抄)

年	月 日	内 容
平成30年	5月 22日	町内小学校・中学校において史・資料調査—花徳小学校・手々小中学校・山小学校
	5月 24日	町内中学校において史・資料調査—山中学校
	6月 18日 ～ 21日	近隣自治体史編さん状況の視察・情報収集—奄美市・大和村・宇検村・瀬戸内町
	7月 31日	県立徳之島高等学校前田記念館所蔵郷土資料受入れ作業(第1回)。
	8月 7日	町議会事務局において史・資料調査
	8月 28日	県立徳之島高等学校前田記念館所蔵郷土資料受入れ作業(第2回)。
	8月 29日	徳之島町誌編さん審議会委員委嘱。平成30年度編さん審議会会議開催。

今後の予定

年	月 日	内 容
平成30年	12月	徳之島町誌編集委員会委員委嘱。および平成30年度編集委員会会議開催。
平成31年	1月～	徳之島町誌各専門部会調査員委嘱準備。

※ お手元に古写真や古文書等がありましたら、町誌編さん室へご連絡ください。

「徳之島町 町誌編さんだより」 第2号

〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 2918

徳之島町生涯学習センター3階(徳之島町郷土資料館内) 電話番号: 0997-82-2908

徳之島町誌編纂室

本紙編集担当: 岩下洋一・大村達郎

※ 徳之島町役場では、条例等の法令名や、事業名・部署名については「編纂(へんさん)」の表記を使用しています。本紙では、発行元名を除いて、町民への広報としての役割から「編さん」の表記で統一しています。ご了承ください。